第２次滝川市環境基本計画・地域行動計画　進捗確認シート

年度内に委員会より市長に提出する「提言書」を作成するために必要なコメントです。
３１日の委員会では、このコメントについて、皆様からご助言を頂きたいと考えておりますので、事前にお目通しくださいますようお願いいたします。

生　活　環　境

目標１：環境にやさしく資源を有効に活用する循環型社会を目指すまち

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1）エコを意識しながら生活するライフスタイルの実践	エコライフたきかわ	市　民 事業者	◆新たな市民運動「エコライフたきかわ」に参加し、その取組を実践します。	◆滝川商工会議所と連携し、各事業所へポスター・チラシを配布 ◆プレス空知、地元みっちゃく情報誌SORAと連携した啓発記事の掲載 ◆FMG‘Skyによる啓発番組の放送 ◆広報、ホームページ等での周知 ◆「エコたき」チラシの全世帯配布 ◆市内外子ども達を対象にごみとリサイクルに特化したイベント「エコまつりin美術自然史館」を國學院短大幼児教育科並びにエコ部が主体となって、６月２６日（日）に実施（参加人数：９８名） ◆市内外小学生を対象に「エコたき」をテーマにしたイベント「エコたきまつりin國學院短大」を８月３日（水）に実施（参加人数：１８９名） ◆滝川市立江陵中学校（１２０名）、滝川市立開西中学校（４０名）での環境教育事業の実施 ◆市内全小学生1,600名を対象とした「エコたき日記」の実施（夏・冬ver）、 ◆滝川西高校美術部による「エコたき」普及キャラクターの作製 ◆滝川西高校美術部によるエコたき推進ポスター・チラシの作製と市内イベント等での配布 ◆プレス空知、地元みっちゃく情報誌SORA等各メディアへの広告（記事）掲載 ◆環境省補助金「二酸化炭素排出抑制対策補助金」を活用した「COOL CHOICEでエコたき」事業の実施	◆市内の企業、教育機関と連携し、様々な角度から普及活動を行うことができたと考える。 ◆広報やＦＭ、地元情報誌などを上手く活用し、より多くの市民の目に「エコたき」が触れるように努力できている。 ◆小学生を対象としたイベントの実施や中学校での出前講座、滝川西高校美術部との連携をとおして、滝川市の明日を担う若者への環境教育も同時に行えていると評価する。 ◆２年目以降は、より多くの市民が「エコたき」を意識した行動を自ら考え行えるようになる意識づけ、動機づけを行うことが課題
		市	◆新たな市民運動「エコライフたきかわ」を重点的に推進します。		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1）ごみの減量化（リデュース）・分別	情報収集・発信	市　民 事業者	◆ごみの減量化などに関する学習会や講演会などに参加します。	◆ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知	◆チラシやホームページを上手く活用し、市民への情報発信を行ったと考える。

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
		市	◆ホームページやパンフレットなどを利用し、ごみの分別方法や減量化の啓発を行います。 ◆ごみの減量化に必要なごみを出さない生活のあり方についてイベントやホームページなどで啓発します。 ◆ごみの減量化などに関する学習会や講演会などの開催に努めます。	◆拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施 ◆市内学童クラブに登録している小学校１年生全員を対象にごみの減量とリサイクルに特化したゲームやぬり絵、工作などをエコ部！が主体となって実施 ◆市内中学校において、ゴミの減量や処理方法についての環境教育授業を実施 ◆滝川消費者協会主催「消費者まつり」でごみ減量化のパネル展を実施	◆大人だけではなく、正しい知識を身に付けることが大切な年代の小中学生を対象とした取り組みを実施したことで、子ども達がごみの分別等について興味・関心を持ち、自ら分別などについて考える機会を提供したことは評価できる。 ◆引き続き、市民がごみ分別やリサイクルについて、正しい知識を身に付けられるような周知を根気よく続けていくことを期待する。
	排出抑制の取組	市　民	◆マイバックを利用します。 ◆ものを大切に使うことを基本とし、ごみを出さない生活を心掛けます。 ◆ごみの分別方法を守ります。	◆ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知 ◆拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施 ◆広報にて定期的にごみ処理の注意点などを掲載 ◆旧粗大センターで資源ごみ回収を実施（土、日、月の１３時～１６時） ◆市内のリサイクルショップをホームページ上で周知 ◆通常商品と比較し、安価または同額な場合はリサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入促進を実施 ◆ごみ回収のその後・・・のチラシを作成し、ホームページ上に掲載	◆ごみ回収のその後一覧表を作成し、ホームページで公開するなど、市民が自らごみ分別に取り組む工夫を行ったことは評価できる。 ◆今後も引き続き、市民が自ら考え行動できるような働き掛けを期待する。
		事業者	◆簡易包装に努めます。 ◆産業廃棄物と事業系一般廃棄物※1などの区分を理解し、ごみの分別を守ります。 ◆ごみ減量化の視点から商品開発に努めます。		
		市	◆ごみ減量化の取組の検証・評価を行います。 ◆リサイクル推進員や団体と協力し、ごみの適正処理に向けた活動を行います。 ◆適正なごみ処理のあり方を検討します。		
2）リユース・リサイクル	リユース・リサイクル	市　民	◆リサイクル製品の購入や中古品の活用など、再利用を心掛けます。 ◆使用済廃食用油・古繊維・不用となった小型家電の拠点回収の利用を心掛けます。	◆以下の場所で回収を実施 古着・古繊維（市役所・旧粗大センター・江部乙支所） 小型家電（市役所・まちづくりセンター・江部乙支所） 使用済廃食用油（市役所・まちづくりセンター、江部乙支所、コミュニティーセンター、市内ガソリンスタンド、食堂など） ◆カレンダーリサイクルを２回／１２月、１回／１月に、市役所大会議室で実施（カレンダー１，４１３点、手帳１４４点）	◆広報やホームページでの回収場所などの周知を行うとともに、より市民が利用しやすい回収場所の開拓などに努めてもらいたい。
		事業者	◆リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。 ◆古紙のリサイクルを推進します。 ◆カレンダーリサイクル事業に協力し、余剰カレンダーを提供します。		
		市	◆リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。 ◆使用済廃食用油の回収・古繊維・不用と		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
			なった小型家電の回収を進めます。 ◆カレンダーリサイクル事業を行います。		
	フリーマーケット・リサイクルショップなど	市　民	◆フリーマーケット、リサイクルショップなどを活用します。	◆リサイクルフェアは、雨天のため中止 ◆ホームページ上で市内のフリマ情報並びにリサイクルショップ情報の配信を行った。 ◆広報で毎月不用品データバンク事業を行った。 ◆市内中学校の制服を対象とした制服リサイクルの実施に向けて、市民から制服の回収を行った。	◆毎月不用品データバンク事業を行い、リサイクルや資源の保護に努めたことを評価する。 ◆市民の声を聴き、新たな試みとして市内中学校の制服リサイクル開始へ向けて取り組みを開始したことを評価する。 ◆引き続き、市民への情報発信を定期的に行っていってもらいたい。
		事業者	◆フリーマーケットに参加・協力します。		
		市	◆フリーマーケット情報交流事業などの強化など、リユース品の利用促進についての啓発を図ります。 ◆不用品データバンク事業を行います。 ◆リサイクルフェアを開催します。		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1）環境の美化	不法投棄対応	市	◆不法投棄防止の啓発活動や監視体制の強化を図ります。	◆不法投棄監視員による市内巡回を実施（毎週月曜日～金曜日） ◆リサイクル推進員による巡回パトロール、不法投棄の通報等を実施 ◆市民や事業者が、町内清掃・ごみ拾い等を随時実施 ◆たきかわクリーンデイ（全市一斉清掃）の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けた 実施主体：町内会・事業所・団体・学校等 ・春　4/16～5/15（中心日4/29）　151団体　7,011人 ・秋　10/2～11/3（中心日10/16）　93団体　3,551人 ◆クリーンデイ取組み期間のほか、必要に応じ、町内清掃・ごみ拾い等を実施する個人・団体等にボランティア袋を配布	◆不法投棄監視員による毎日の定期的なパトロールや不法投棄防止看板の設置など、監視体制の強化を図ったことを評価する。 ◆市民がごみ拾いボランティアに参加する仕掛けのひとつとしてクリーンデイの期間を設定したことで、町内会、学校、企業、団体など幅広い年代層の市民が環境美化活動に参加する機会を設けたことを評価する。 ◆引き続き、不法投棄監視も含め、市民が環境美化活動に参加する機会を定期的に作ってもらうことを期待する。
	ボランティア活動の推進	市　民 事業者	◆たきかわクリーンデイ（全市一斉清掃）に参加します。 ◆ボランティア袋を活用し、環境の美化に努めます。		
		市	◆たきかわクリーンデイ（全市一斉清掃）の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けます。 ◆ボランティア袋を配布し、ボランティア活動を支援します。		

地　球　環　境

目標２：エネルギーを大切にし、環境への負荷の少ないまち

ア　地球温暖化対策の推進

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1）計画的な地球温暖化対策の推進	地球温暖化対策の実施	市　民 事業者	◆地球温暖化対策に関する情報提供・対策の知識と理解を深めます。	◆ホームページを活用した情報発信を実施 ◆クールビズ、ウォームビズの推進 ◆ライトダウンキャンペーンを実施 ◆二酸化炭素排出抑制対策補助金を活用した地球温暖化防止事業の実施	◆二酸化炭素排出抑制対策補助金を活用し、ＣＯ２削減やエコたきの普及・啓発を推進したことを評価する。 ◆引き続き、低炭素社会の実現に向けて、普及啓発に努めてもらうことを期待する。
		市	◆滝川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市の各施設において省エネルギーに取り組み、地球温暖化対策を率先して進めます。 ◆地球温暖化対策に関する情報提供・対策の発信に努めます。		
2）省エネルギーの推進	情報収集・発信	市　民 事業者	◆省エネルギーに関する知識と理解を深めます。 ◆省エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	◆ホームページを活用した情報発信を実施 ◆８月３日（水）エコ部！主催のイベント「エコたきまつりin國學院短大」において、小学校２年生を対象に北海道電力の講師がゲームやクイズを行い省エネについて学ぶ省エネ講座を実施 ◆滝川市立開西中学校で行った出前講座において、省エネに詳しい北海道地球温暖化防止活動推進員を招き、体験型ワークショップを行った（参加人数４０名）	◆小学生を対象としたイベントや中学校での出前講座を通して、若年層へ省エネルギーの大切さを理解してもらう取り組みを行ったことを評価する。 ◆引き続き、自然エネルギーをはじめとする省エネについて、正しい知識を市民へ発信できる取り組みを行ってもらいたい。
		市	◆省エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆省エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。		
	省エネルギーの実践	市　民	◆環境家計簿などを活用した省エネルギーの取組を実践します。 ◆照明をはじめ、家電製品などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆公共交通機関の利用に努めます。 ◆エコドライブの実践に努めます。 ◆ＬＥＤ照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。	◆環境家計簿（省エネモニター）を実施（参加者数４２名） ◆空知自動車学校と連携し、卒業生を対象としたエコドライブ講習会（参加人数３７名）の実施並びにエコドライブに特化したメールマガジン（登録人数９８７）を配信 ◆補助金を町内会に支出し、町内会等が維持管理する街路灯をLEDに切替促進（７００灯） ◆市内公民館の照明をLED切替促進 ・扇町地区コミュニティーセンター　誘導灯／２基　集会室／４基 ・三世代交流センター北地区分館　誘導灯／１基 ・東滝川地区転作研修センター　第三研修室／２基地　体育室／２基 ・北地区コミュニティーセンター　誘導灯／３基 ・中地区コミュニティーセンター　誘導灯／１基 ◆エコたきポスター・チラシにて節電や省エネについての啓発を実施	◆空知自動車学校と連携し、エコドライブ講習会の実施やメールマガジンの発信など、新たな取り組みを開始したことを評価する。 ◆引き続き、省エネモニター、街路灯や照明のＬＥＤ化などを進めて行くことを期待する。
		事業者	◆照明をはじめ、電気設備などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆環境への負荷の少ない事業活動に努めます。 ◆エコドライブを行います。 ◆ＬＥＤ照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。 ◆省エネルギーや温暖化対策の推進に取り組みます。 ◆環境省などによる省エネルギー診断などを利用した取		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
			組を検討します。 ◆環境省が策定した事業者向けのCO_2排出削減対策への参加を検討します。		
		市	◆環境家計簿を作成し、市民への普及に努めます。 ◆道路環境の整備や公共交通機関の確保に努めます。 ◆エコドライブに関する情報の提供に努めます。 ◆ＬＥＤ照明などの省エネルギー機器の導入や普及に努めます。 ◆町内会などが維持管理する街路灯のＬＥＤ切替促進に努めます。 ◆公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設の長寿命化を図るための省エネルギー化を含む計画的な修繕に努めます。 ◆環境省が策定した事業者向けのCO_2削減対策について、情報提供に努めます。		
3）再生可能エネルギーの利用促進	情報収集・発信	市　民 事業者	◆再生可能エネルギーに関する知識と理解を深めます。 ◆再生可能エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	◆ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載 ◆市内公共施設に設置した太陽光パネルの発電量を３ヶ月毎にホームページに掲載	◆市内公共施設に設置された太陽光発電のデータを定期的に市民に発信し、滝川市における再生可能エネルギーの取組周知を広く発信したことを評価する。 ◆引き続き、市民への情報発信を期待する。
		市	◆再生可能エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆再生可能エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。 ◆廃棄物処理施設における発電その他公共施設における再生可能エネルギー活用事例などの情報提供に努めます。		
	再生可能エネルギーの導入	市　民	◆再生可能エネルギーについての情報収集・学習に取り組み、再生可能エネルギーの導入を検討します。	◆ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載 ◆㈱IHI環境エンジニアリング・IKE、ラサ工業㈱と共同研究協定の締結を結び、利用度の低い籾殻を燃料として活用する燃焼試験を実施 ◆駅前広場の整備工事開始（小型風力と太陽光のハイブリッド街路灯や、太陽光発電設備を屋根に設置した駐輪場を設置（平成２９年度より本格始動予定））。	◆籾殻の燃料試験の開始やエネルギーパークの活用など、新たな取り組みを積極的に行ったことを評価する。 ◆引き続き、企業や団体等と連携し再生可能エネルギーの導入に向けた取組みを期待する。
		事業者	◆再生可能エネルギーの導入を検討します。		
		市	◆再生可能エネルギーの導入を検討するとともに普及・啓発に努めます。 ◆バイオマスなど未利用の自然エネルギーなどの活用を検討します。 ◆駅前広場に、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを導入します。		

イ　その他の地球環境問題への対応

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1)　ＰＭ2.5・フロンガス※2などの情報収集・提供	情報収集・提供	市	◆ＰM2.5やフロンガスなどの地球環境問題について、国や北海道からの情報収集に努めるとともに、ホームページやコミュニティＦＭなどで必要な情報を市民に周知します。	◆実績なし	◆次年度以降の情報発信に期待する。

自然環境・農業

目標３：身近な自然と触れ合うことでその大切さや素晴らしさを実感できるまち

ア　身近な自然環境の保全と活用

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1）豊かな自然資源の情報発信	丸加高原や菜の花畑などの豊かな自然環境のＰＲ	市　民 事業者 市	◆滝川市の豊かな自然について、ＳＮＳや広報・ホームページ・イベントなどを通じて、全国に向けてＰＲをします。	◆広報、ホームページ、Facebook等を活用した、イベントやキャンプ場情報周知 ◆地域おこし協力隊による自然体験イベントや子どもキャンプの実施 ◆丸加高原で採取した木の実や枝を活用した工作体験の実施	◆引き続き、産業振興課、観光国際課、農政課等と連携し、広報、ホームページ、Facebook等を活用した周知を行っていってもらいたい
2）豊かな自然資源の活用と保全	街路樹･公園の適正な維持管理	市　民 事業者	◆街路樹・公園の樹木などを維持するためのボランティア活動に参加し、自然環境への関心を深めます。	◆公園改修の実施 （中島せせらぎ公園、三世代交流公園、航空公園、こすもす公園） ◆公園の草刈等維持管理の実施 ◆街路樹の剪定業務の実施【825本】	◆引き続き、土木課と連携し維持管理に努めてもらうことを期待する。
		市	◆公園の適切な維持修繕に努め、利用者の安全確保に努めます。 ◆街路樹の適正管理に努めます。		
	良好な水辺環境の保全	市　民 事業者	◆川づくり活動に参加し､自然環境への関心を高めます。 ◆石狩川クリーンアップ作戦の参加など、河川の環境維持に協力します。	◆石狩川クリーンアップ作戦への参加 ◆ボランティアによる石狩川再生の森（石狩川周辺の草刈り、森林の管理など）の実施	◆引き続き、ＮＰＯ法人やボランティ団体と連携し維持管理に努めてもらうことを期待する。
		市	◆河川への不法投棄の監視など河川の環境保全に努めます。		
	自然体験など学習の提供	市　民	◆自然体験や自然観察会などの取組に参加し自然環境への関心を高めます。	◆エコネット登録団体による自然体験や自然観察会の開催時に職員がサポートを行った ◆自然体験や観察会実施などの事前周知をホームページ上で行った	◆引き続き、エコネット登録団体と連携し維持管理に努めてもらいたい。
		市	◆自然体験や自然観察会などの開催及び情報提供などに努めます。		

イ　豊かな農業環境の保全と活用

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1）環境にやさしい農業や地産地消などの推進	減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の普及・啓発	市　民	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の理解を深めます。	◆生産者のほ場等での田植え・稲刈り等の農業体験を通じ、環境保全型農業の取組の理解を深めた。 ◆減化学合成農薬・減化学肥料による農産物（米・野菜）の生産を行った。 ◆減化学合成農薬・減化学肥料などによる環境保全型農業による生産を行った生産者に対し交付金による支援を行った。	◆引き続き、農政課、ＪＡ、農業経営者と連携し、目標達成に向けて努力してもらいたい。
		事業者	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業に取り組みます。 ◆用排水路など地域の共同管理している箇所の環境の維持に努めます。		
		市	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の情報提供や支援に努めます。		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
	地産地消の推進	市　民	◆地元農畜産物の積極的な購入や中食・外食においては地産地消認定店の活用や地元農畜産物を活用したメニューを選ぶなど地産地消を推進します。	◆たきかわ地産地消認定店ガイドブック及び滝川地産地消協議会フェイスブックによる地産地消メニュー情報の発信 ◆たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデンの開催（地産地消認定店の出店） ◆年６回市内小学校で市内生産者による農作物の授業及び交流給食 ◆ちょっ蔵まつり、道の駅たきかわ大収穫祭における新米 PR 活動の実施 ◆広報たきかわにおける地産地消特集の掲載	◆引き続き、産業振興課、観光国際課、農政課、ＪＡ、農業経営者と連携し、目標達成に向けて努力してもらいたい。
		事業者	◆地元農畜産物を活用したメニュー提供やレシピのＰＲなどを行い、普及に努めます。		
		市	◆地産地消の給食の実施に努めます。 ◆地元農畜産物のＰＲに努めます。		
	食育の推進	市　民	◆日常生活の中で健全な食生活の維持に努め、食を通じて自然の恩恵に対する理解を深めます。	◆生活習慣病予防料理教室 ◆料理づくりのつどい ◆滝川市食育推進市民会議の開催（２回） ◆第３次食育推進行動計画策定に向けた策定ワーキングの開催（３回）	◆引き続き、保健センター、教育委員会と連携し、目標達成に向けて努力してもらいたい。
		事業者	◆食育に必要な地元農畜産物や場の提供に努めます。		
		市	◆食育を実践するため、行政機関や関係団体、事業者などと連携調整に努めます。		
2）農業とのふれあいの場の提供・確保	農業体験の普及啓発	市　民	◆農業体験などの事業に参加します。 ◆市民農園などを活用します。	◆ＪＡ青年部やトンボの会が実施する農業体験学習等に参加した。 ◆市民農園などを活用した、家庭菜園づくりにより農業に親しんだ。 ◆滝川緑の少年団員（団員／１０名、活動期間／５月２９日～１１月１２日、活動回数／６回）を募集し、緑の募金活動、不法投棄の清掃、植樹、川下り、稲刈り、脱穀などの農業体験を行った） ◆広報やホームページで市民農園に関する情報提供を行い、市民の利用を促進した。 ◆ＪＡたきかわや行政と協力し、市民農園の運営を行った。	◆引き続き、農政課、ＪＡ、農業経営者と連携し、目標達成に向けて努力してもらいたい。
		事業者	◆農地見学などを受け入れることができる体制の整備を行います。 ◆農業体験学習の講師として行政などに協力します。 ◆体験農園などの企画・運営を行政などと協力して行います。		
		市	◆農業体験学習を実施します。 ◆市民農園などの情報提供を行い、市民の利用を促進します。		

環境コミュニティ

目標４：みんなが学び、共有することによる環境保全の環（わ）が広がるまち

ア　環境に関する情報の発信と共有

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1）情報の提供と共有	地域における環境活動の取組状況などの情報収集や情報提供	市　民	◆たきかわエコネットに登録した団体などの取組状況への関心を深めます。	◆ホームページ「たきかわエコネットコーナー」に登録団体主催のイベント情報を掲載 ◆事業者向けの情報についても、ホームページ上に掲載し周知を行った。 ◆年次報告書を作成・ホームページ上で公表した。 ◆ホームページ「たきかわエコネットコーナー」に登録団体主催のイベント情報を掲載 ◆滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部！」の指導をエコネット登録団体に依頼し、連携強化を図った。	◆ホームページ上で、エコネット主催のイベント情報を発信するのは、北海道内の自治体でも珍しいため、今後も続けてもらいたい。 ◆今後は、エコネット登録団体の開拓、既に登録している団体による環境保全活動の強化やイベント回数増加などの働きかけを行っていく必要がある。
		事業者	◆環境に関する事業の実施・情報提供を行います。		
		市	◆環境基本計画に基づき実施された状況を明らかにするために年次報告書を作成し、公表します。 ◆各環境団体にたきかわエコネットへの登録を促し、それらの環境活動の情報を発信し共有することで、活動への参加を促進します。 ◆たきかわエコネットに登録した団体などを支援し、それらの結びつきを強め、活動の活性化につなげます。		

イ　環境教育の充実

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
1）環境学習・環境保全活動の促進	環境学習･環境保全活動に関するイベントの実施	市　民	◆環境学習・環境保全活動に関するイベントに参加します。 ◆環境に配慮した行動を実践できるよう、学習し、理解を深めるとともに学んだことから自発的な興味・関心を広げます。	◆エコ部！と國學院大學北海道短期大学部が協働で、未就学児並びに小学生を対象に、リサイクルやエネルギー等に特化した環境学習イベントを主催し、３００名の市民が参加した。 ◆教育委員会と連携し、市内全小学生を対象に夏休みと冬休みに「エコたき」日記を配布、休み明けには児童が塗った「エコたきくん」のぬり絵を図書館に展示すると共に併せてウォームビズの啓発展示を実施 ◆１１月３日（土)、マリアージュ イン　ベルコにおいて環境市民大会を開催 ◆滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部！」の指導をエコネット登録団体、空知教育センター、地域おこし協力隊等に依頼し、連携強化に努めた。	◆エコ部！、短大、まちつく、農家、エコネット登録団体、空知教育センター、市立図書館、美術自然史館等、これまで連携していなかった団体同士が連携し、事業を行うことで、学校や学年、年代を超えた若者同士の協力体制が生まれ、世代間交流を行うことができた。 ◆市内の関係団体へ依頼し、学生を指導する講師として参加してもらったことで、環境学習リーダーとして活動する若者たちへの理解が深まり、応援してくれる市民が増えた。 ◆引き続き､講師等としてエコネット登録団体や市内教育機関、企業等との連携強化に努めてほしい。
		事業者	◆事業所を環境学習の見学の場として提供するなど環境学習の取組の支援・協力を行います。		
		市	◆環境市民大会を開催し、環境に関する情報提供に努めます。 ◆環境学習・環境保全活動に関するイベントの開催に当たっては、市内の実践者などの人材に協力を求めます。		
	次世代エネルギーパークの	市　民	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習に参加します。	◆富良野市市民団体の視察対応を行った。	◆今後は、市内の教育機関や企業と連携し、見学会を開催するなど、多くの市民がエネルギーパークを理解できるような仕

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度の取組	委員からのコメント
	活用	事業者	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習への協力を行います。		掛けを検討する必要がある。
		市	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習を行います。		
	環境学習リーダーの育成	市　民	◆環境学習リーダー養成講座を受講し、環境についての知識を習得します。	◆市内３つの高校から２６名が環境学習リーダー養成講座に参加し、勉強会やイベント等をとおして、リーダーの育成を行った。 ◆國學院大學北海道短期大学部舛井ゼミ、まちつく６、エコ部！が協働で実施した食育イベントにおいて、市内稲作農家にご協力いただき、環境保全活動や稲作栽培についてのワークショップに参加した後、道の駅で「米」をテーマにしたイベントを実施した（参加人数：３００名） ◆國學院大學北海道短期大学部児童教育学科２年生７名並びにスプリングフィールド大学短期留学生１０名を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、公益財団法人北海道環境財団の講師による地球温暖化防止の専門講座を受講した後、市内児童センター２か所（西地区児童センター、東地区児童センター）で地球温暖化防止に特化したイベントを実施した。	◆高校生が主体となって行う環境学習リーダー養成講座は、全国的にみても珍しく、滝川独自の先進的な取り組みとして今後も講座の幅を広げて行ってもらいたい。 ◆次年度以降は、環境学習リーダーに参加する若者たちが活発に意見を出し合い、イベントの企画・運営を行えるような仕掛けが必要。
		事業者	◆環境学習リーダー養成のため事業者が保有している環境情報や実践している環境保全活動について、情報提供を行い、身近な環境学習の創出に協力します。		
		市	◆環境学習リーダー養成講座を継続し、リーダーの育成を推進します。 ◆高校生ボランティアチーム「エコ部！」の活動の検証を行い、次世代リーダーの養成につなげます。		